

リチウムイオン電池製品の正しい出し方

リチウムイオン電池が使われている製品には右のマークがあります。詳しい分別方法は市ホームページで確認を。
右コードからアクセス可。



取り外せない製品



取り外せる製品

デジタルカメラ



リチウムイオン電池

電池以外の部品

有害ごみとして分別

- ①地域の不燃ごみ集積場所に出す
- ②リサイクルプラザに直接搬入



正しく分別を

消防署でモバイルバッテリーを回収

京都府北部初!

～モバチュープロジェクト始動～

「モバイルバッテリー火災に注意!正しい回収で火災ゼロプロジェクト(モバチュープロジェクト)」を掲げ、リチウムイオン電池製品の中でも、火災発生リスクの高い変形したモバイルバッテリーの回収を開始します。

【回収場所】 東・西消防署

【日時】 平日 9時～17時 (土・日曜日、祝日を除く)

【注意点】 必ず消防署まで持参し、職員に手渡ししてください。事業活動に伴うものは回収できません。

【回収対象】 ・傷がついたもの
・膨らんだり変形しているもの



▲傷がついたモバイルバッテリー

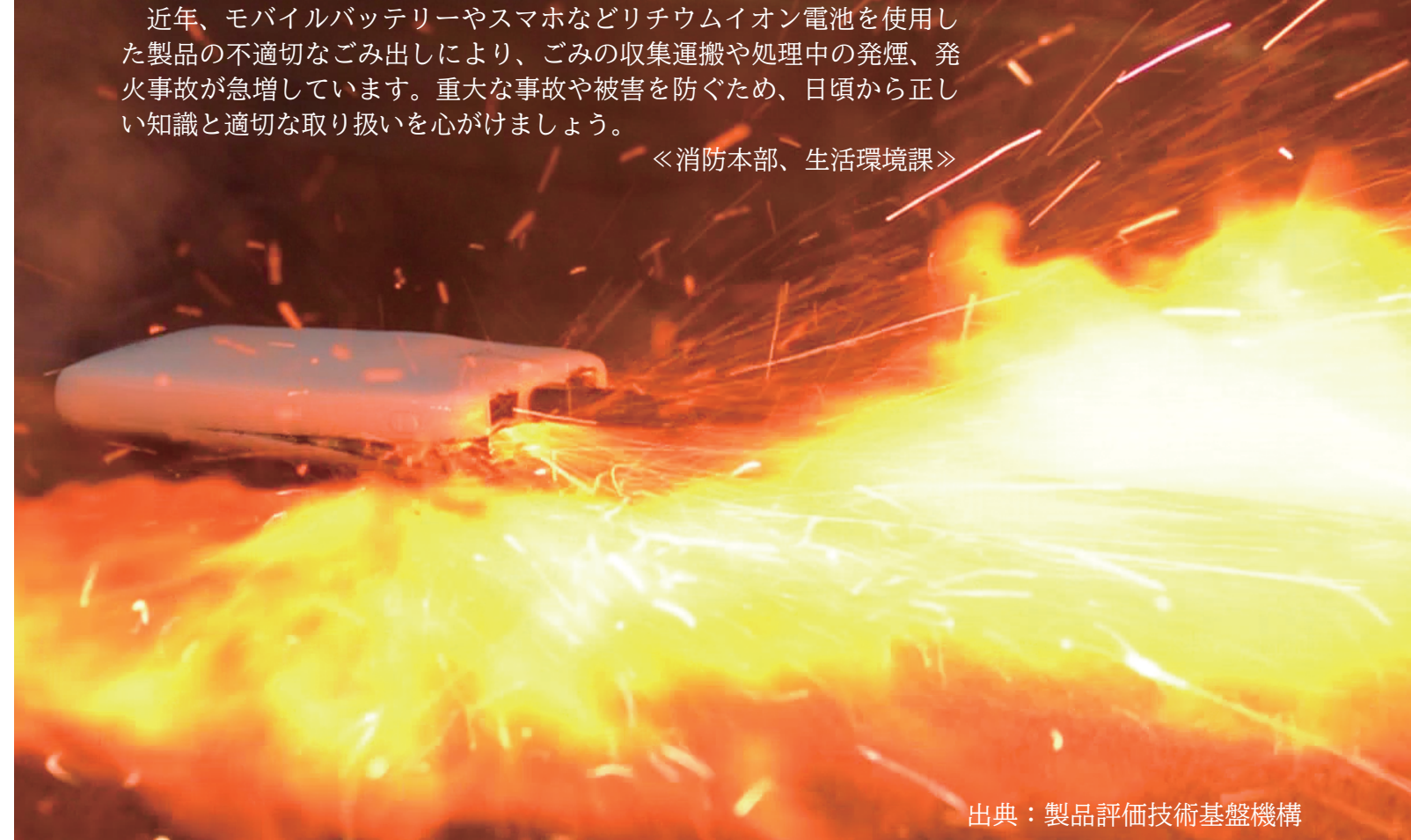


▲膨らんだモバイルバッテリー

リチウムイオン電池を使った製品にはご注意を!

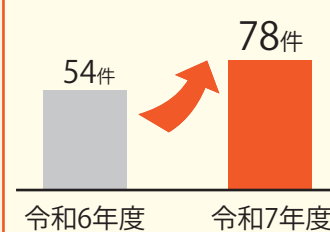
近年、モバイルバッテリーやスマホなどリチウムイオン電池を使用した製品の不適切なごみ出しにより、ごみの収集運搬や処理中の発煙、発火事故が増えています。重大な事故や被害を防ぐため、日頃から正しい知識と適切な取り扱いを心がけましょう。

《消防本部、生活環境課》



出典：製品評価技術基盤機構

リサイクルプラザでの発煙・発火件数



リチウムイオン電池とは
リチウムイオン電池は、小型・軽量でありながら、大きな電力を蓄えることができる充電式の電池で、身近な製品に広く使われています。
一方で、内部に燃えやすい液体を含むため、強い衝撃や劣化、高温、不適切な使用・廃棄などによって発煙・発火する危険性があります。
実際に、近年リチウムイオン電池を原因とする火災が増加しています。舞鶴市でも、リチウムイオン電池を含む製品が「埋立ごみ」に混入し、ごみ収集車での運搬中やリサイクルプラザでの処理中に発煙や発火する事故も増加しており、大規模な火災につながる危険もあります。

正しく選ぶ
輸入品の非純正バッテリーによる事故が多発しています。購入の際は、電気用品安全法の基準を満たした「PSEマーク」のある製品を選びましょう。

正しく使用・保管する
◆夏の車内など、高温になる場所では使用、保管しない
◆落下などの強い衝撃や圧力を加えない
◆充電は目の届く場所で行い、本体が異常に熱くなるなど異変を感じた時は、すぐに使用を中止する

正しく分別する
使い切ってから廃棄するのが原則です。電源が入らない、動かない状態になっているか確認しましょう。安全の確保と円滑なリサイクル推進のために、分別ルールを守って正しく分別・廃棄しましょう。